

茶の湯釜の歴史と鑑賞

しょうしゃ く
—— 瀟洒の美、朽ちの美 ——入場
無料

日時 平成24年 12月 8日(土) 14:00～16:00

会場 キャンパスプラザ京都 5F 第1講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下ル ◎ビックカメラ前 / JR京都駅ビル駐車場西側

定員 250名

※事前申込みが必要です。(応募多数の場合は抽選)

京都創生推進フォーラムと京都市では、景観・文化・観光分野の専門家から、京都の魅力や素晴らしさ、課題などを語っていただくことにより、「国家戦略としての京都創生」に関する市民の皆様の自主的な活動の推進と機運の醸成を図ることを目的に、京都創生連続セミナーを開催しています。

今回のセミナーでは、講師に釜師 大西家十六代当主の 大西 清右衛門 氏をお迎えいたします。大西家はおよそ四百年の長きにわたり釜座の伝統と技を継承し、千家出入りの職家としての歩みを今日まで続けてこられました。いずれは朽ち果てる鉄という素材を用いながらも、創造性に満ちた造形や精緻な技を極め、都の風をうけた端正で瀟洒な美しさ、そして“朽ち”や“やつれ”などの言葉に象徴される侘びの美しさ、この両面の美に裏打ちされる茶の湯釜の世界。その独特な魅力を、作り手の立場からお話いただきます。

プログラム

- ◇趣旨説明 「国家戦略としての京都創生」の取組について
◇講演 茶の湯釜の歴史と鑑賞 — 瀟洒の美、朽ちの美 —

講師 大西 清右衛門 (おおにし せいうえもん) 氏

昭和36年 京都市三条釜座生まれ。昭和61年、大阪芸術大学美術学部卒業。平成5年、十六代大西清右衛門を襲名。平成10年、大西清右衛門美術館を開設、館長に就任。平成15年、京都市芸術新人賞受賞。平成18年、京都府文化賞奨励賞受賞。芦屋釜の幻の技法とされた「挽き中子技法」の再現や、歴代中の名手・二代浄清の「夜学釜(慈照寺伝来)」復元に成功するなど、過去の技法や名品を手本とし、新たな創造を試みている。著書に『茶の湯の釜』。京都創生百人委員会委員。



撮影:田口葉子

- ◆申込方法 電話かFAX、または電子メールで、11月26日(月)までに、京都いつでもコール(京都市市政情報総合案内コールセンター)へお申込みください。
申込みの際には、①郵便番号、②住所、③氏名(ふりがな)、④電話番号をお伝えください。お申込みいただいた方へは、申込締切日(11/26)以降に、当否にかかわらず連絡ハガキを送付します。

- ◆申込・問合せ先 【京都いつでもコール】 電話番号 075-661-3755 FAX番号 075-661-5855
電子メール(ホームページの送信フォームをご利用ください) 【京都いつでもコール】 検索 または、
<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

- ◆主催 京都創生推進フォーラム 京都市
＜京都創生推進フォーラム運営委員会委員＞(順不同)
京都商工会議所、(社)京都経済同友会、(株)京都新聞社、(公)京都市観光協会、(公)京都市芸術文化協会、
(公)大学コンソーシアム京都、(公)京都市景観・まちづくりセンター、京都府、京都市、
(公)京都文化交流コンベンションビューロー(事務局) 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5階 TEL.075-212-4540

- ◆後援 京都創生百人委員会

【次回】 第19回京都創生連続セミナー
(詳細については後日発表)

◎日時: 平成25年1月19日(土) 14:00～16:00 ◎会場: 時雨殿 2階大広間
◎テーマ: 「書のある暮らし」
◎講師: 杭迫 柏樹 氏 〈書家、(公社)日展理事(審査員)、(公社)日本書芸院理事長〉

【第18回京都創生連続セミナー(12月8日) FAX応募用紙】

参加者	ふりがな 氏 名	様
	連絡ハガキ送付先住所(〒)	
	TEL. ()	

※この個人情報は、本セミナーの運営以外には使用しません。

FAX.075-661-5855